

# 猪名川の治水対策

整備基本方針(目標:200年に一度の洪水への安全を確保(余野川ダムを位置付け))

整備計画案(目標:概ね40年に一度の洪水への安全を確保)

- ・整備期間:概ね30年
- ・戦後最大洪水である昭和35年の台風16号による洪水を安全に流下させるため、河道掘削を実施する。
- ・さらなる治水安全度の向上のため、余野川ダム等洪水調節施設の整備については、他の支川との治水安全度のバランスをふまえ、実施時期を検討する。

## 猪名川水系の治水対策案の比較

[億円]

	河川改修(案)			河川改修+余野川ダム(案)		
	総負担額	府県事業	直轄事業	総負担額	府県事業	直轄事業 (内ダム事業)
大阪府	122	89	33	98	60	38(24)
兵庫県	44	11	33	85	8	77(63)
国	233	100	133	329	68	261(203)
計	399	200	199	512	136	376(290)
長所	・全体事業費が約110億円安い。			・猪名川水系のみで考えると府の負担額が河川改修案より小さい。 ・猪名川水系全体の治水目標の早期達成が可能。 ・導水トンネル下流余野川の安全性が早期に高まる ・箕面森町事業との一体的な整備が可能。		
短所	・現在の事業費ベースで約30年要する			・事業費が高く、ダム建設期間(約10年)に集中する。		

神崎川やその支川である安威川等の治水安全度確保のためには、別途府負担額で29億円の河川改修が必要。

### 兵庫県の動向

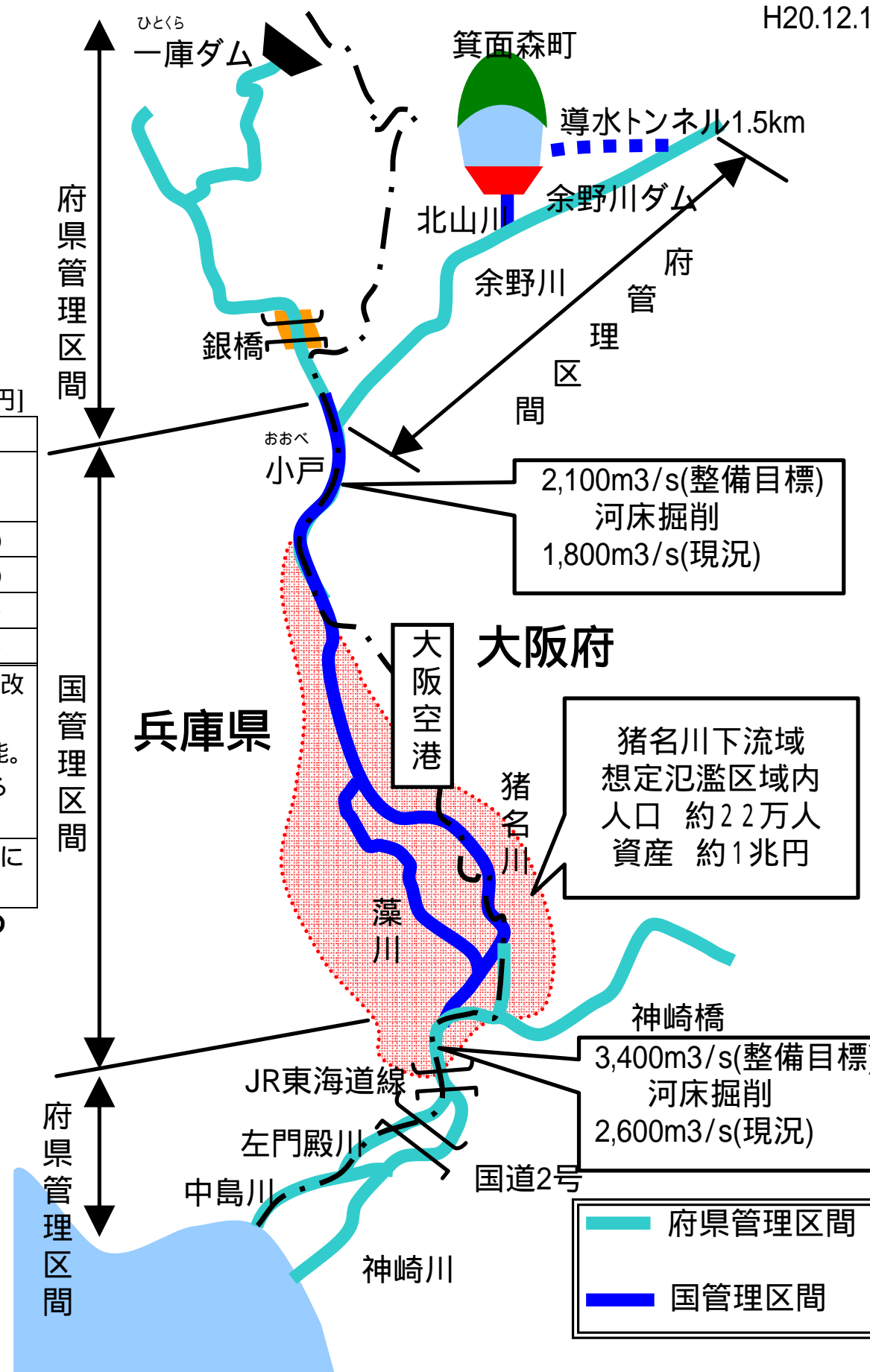
- ・余野川ダム建設には消極的。(河川改修案を支持)
- ・銀橋付近狭窄部の部分開削の早期着手を熱望

### 論点

「河川改修」(案)と「河川改修+余野川ダム」(案)のどちらを選択するか

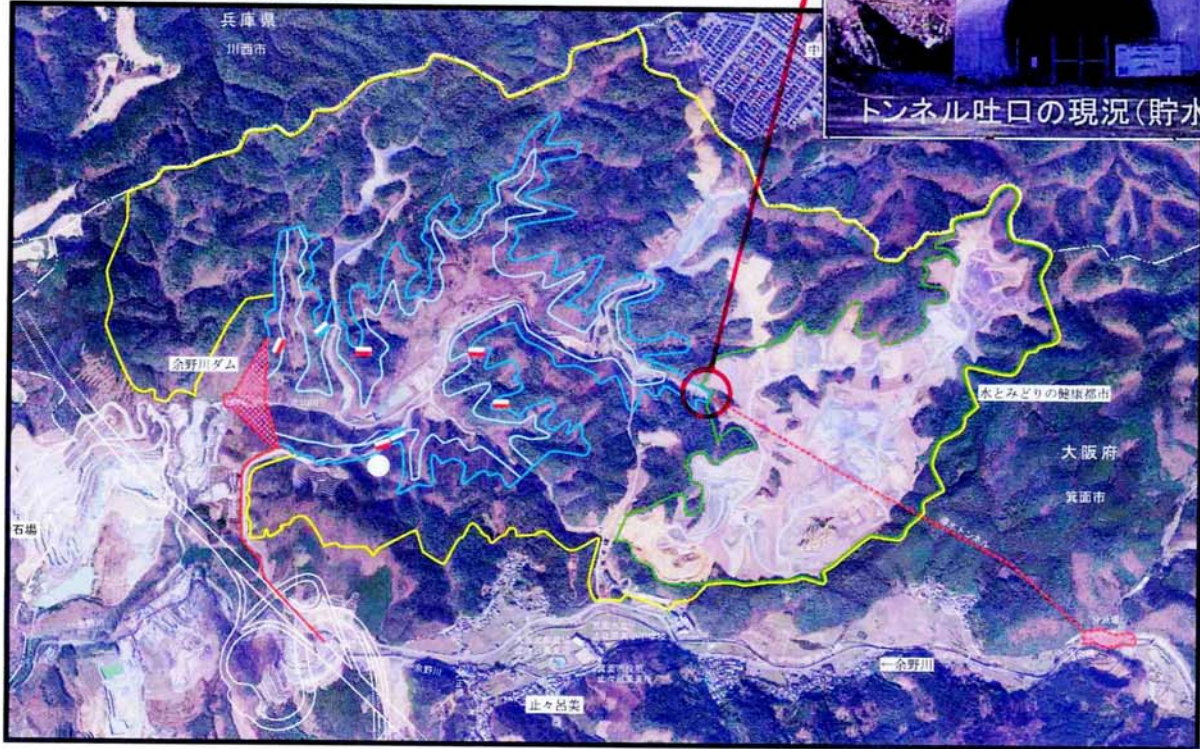
### 論点以外の知事意見(案)

- ・銀橋付近狭窄部の開削は、下流神崎川の治水安全レベルを考慮
- ・一体的に進めてきた箕面森町事業に支障のない措置
- ・ダムを当面実施しない場合の国によるダム事業用地の適正な維持管理や地域整備に必要な財源の確保

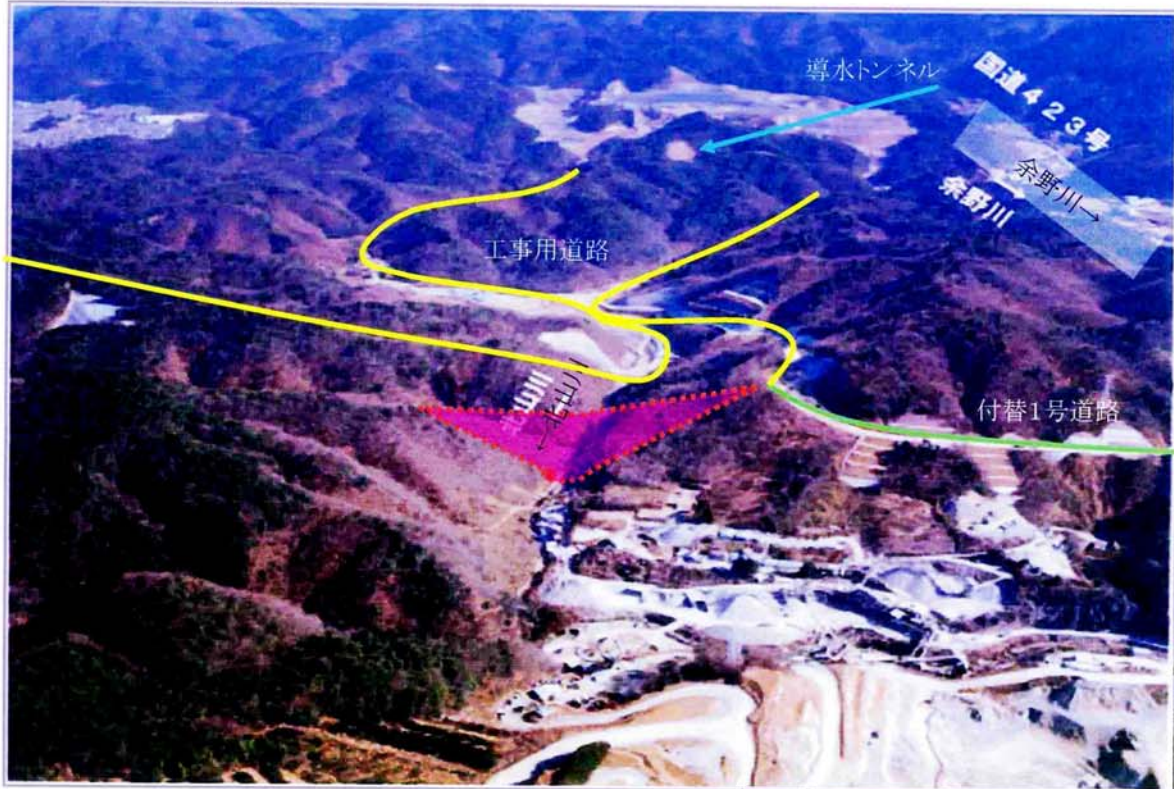


# 余野川ダム

## ●事業予定地平面図



## ●事業進捗状況



- 工事用道路 : 約2.5 kmが完成 (約46%)
- 付替1号道路 : 約0.7 kmが完成 (約78%)
- 導水トンネル : 全長約1.5 kmが概成
- 用地買収 : 約84 haを取得済み (約99%)